

アクティビティー報告書

ク ラ ブ 名	岐阜南ライオンズクラブ
実 施 年 月 日	29年 9月 9日(土)
ア ク テ ィ ビ テ ィ ー 名 称	おたのしみ会 「秋ジャガイモ」の600本植付体験
ア ク テ ィ ビ テ ィ ー 項 目 の 分 類	四献・青少年関係・環境保全・YCE・LCIF・ その他

内 容 (誰が・どこで・何を・どの様に・参加者数・対象者数)

【事業名】 おたのしみ会 「秋ジャガイモ」の600本植付体験

【日時】 29年9月9日(土)

【場所】 JA 鷺山支店 隣の畑

【活動内容】 障がい者と農業作業者と協働して農業を行い作物(ジャガイモ)を共に植え、育て、収穫する喜びを学び(食育)分かち合い繋がりを実感出来る活動となりました。定植日には、約300㎡の畑にジャガイモ「農林1号」の種芋600玉を植えた。生産者が栽培指導をし、12月上旬に収穫祭を予定しています。

【援助金額】 石灰、馬鈴薯種子10kg 他肥料、33,128円、苗の世話代50,000円、おにぎりお茶代70セット23,765円、軍手1,069円 合計107,962円

【出席者】 参加施設 1.笑顔工房ファミリーヘア 2.いぶき 3.ひなたぼっこ 4.ビーカンパニー、5.ポップコーン福祉会 ライオンズクラブ18名 JAぎふ 計64名

アクティビティーの内容 写真



ジャガイモを
障がい者と栽培
JAぎふ鷺山支店と
岐阜南ライオンズクラブ
【ぎふ】JAぎふ鷺山支店と岐阜南ライオンズクラブでは、障がい者対象としたジャガイモ栽培に取り組んでいる。ライオンズクラブが実施する福祉・環境事業の一環、定植日には、岐阜市内に
あるらつの障がい福祉施設の人居25人とJA、生産者、ライオンズクラブの会員ら64人が参加した。
障がい者を持つ人が地域社会と関わり合う機会づくりが狙い。JAを通じて地元生産者である森畑宏さんの畑を借り、定植に向けた取立てなど、圃場(ほじょう)の準備をした。
定植日には、約300平方メートルの圃場に、ジャガイモ「農林1号」の種芋600玉を植えた。生産者が栽培指導をし、12月上旬に収穫祭を予定している。同支店の神山浩二支店長は「食と農の大切さを伝えるため、地域のJAとして協働しサポートしたい」と訴えた。

